

## イオウくん蒸装置を使われる場合のご注意

イオウによる燃焼機器のトラブル報告が増えつつあります。

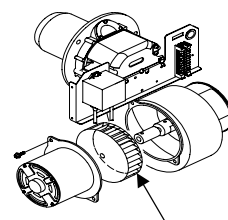
ハウスカオンキや小型温風機、ハウスポイラ等の設置された温室でイオウくん蒸装置を運転した場合、イオウにより各種機器にトラブルの発生する可能性があります。トラブルを未然に防ぐためにも、定期的な点検や日常の点検を励行し、ご注意くださいますようよろしくお願いいたします。

### <トラブル例>

1. イオウがハウスカオンキのバーナファンランナに大量に付着したため、燃焼不良となり、黒煙が大量に発生、バーナや缶体内もタール状に汚れた。

バーナファンランナはバーナが燃焼に必要な空気を送り込む部分です。ここにイオウが大量に付着したため、送風能力が落ち、燃焼空気不足となって燃焼不良状態となってしまいました。

(付着したイオウをきれいに掃除することでトラブルは解消しました)



ファンソ

2. イオウが電線の元部に付着し腐食、断線状態となり機器が運転不能となった。

イオウは、金属の腐食を助長し、特に銅や銅合金への影響が大きい物質です。電気部品は銅や銅合金が多く使用されています。燃焼機器だけでなく、温室内の各種装置の電装部品や配線類はどうしても傷みやすい状態なってしまいます。

イオウによるトラブルは、イオウのくん蒸量や装置の位置、室内の湿度などさまざまな要因によりますが、長年使えば使うほどトラブルの可能性は高くなるといえます。

未然にトラブルを防ぐため、ぜひとも日常の点検や定期点検を励行していただき、堆積物の掃除や損傷部品の早めの交換など、対策を行っていただけますようお願いいたします。

- ※ 1. 燃焼トラブル防止には燃焼用外部空気取り入れ口をバーナ近傍まで設置していただくことも有効な方法です。(詳しくは取扱説明書をご覧ください)
2. 炭酸ガス発生機については、浮遊しているイオウを燃焼させ亜硫酸ガスとして温室に拡散し、ガス害を発生させる恐れがあります。

炭酸ガス発生機とイオウくん蒸装置は絶対に同時運転させないでください。

また、イオウくん蒸終了後は換気を行ってください。換気できない場合は、十分な時間(3時間以上)を空けてから運転してください。